

	弘前大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻（第1年次：80名、第3年次：10名）</p> <p>放射線技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名）</p> <p>検査技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名）</p> <p>理学療法学専攻（第1年次：20名、第3年次：5名）</p> <p>作業療法学専攻（第1年次：20名、第3年次：5名）</p> <p>保健学研究科（M：25名、D：9名）</p>
沿革・設置目的	<p>弘前大学医学部附属看護学校、附属助産婦学校、附属衛生検査技師学校、附属診療放射線技師学校を経て弘前大学医療技術短期大学部が設置された後、平成12年、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学及び作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 弘前大学設置</p> <p>昭和26年（1951年） 医学部附属看護学校設置</p> <p>昭和32年（1957年） 医学部附属助産婦学校設置</p> <p>昭和42年（1967年） 医学部附属衛生検査技師学校設置</p> <p>昭和44年（1969年） 医学部附属診療放射線技師学校設置</p> <p>昭和50年（1975年） 医療技術短期大学部設置（看護科・専攻科助産学特別専攻）</p> <p>昭和51年（1976年） 医療技術短期大学部に衛生技術学科設置 医療技術短期大学部看護科を看護学科と改称</p> <p>昭和52年（1977年） 医療技術短期大学部に診療放射線技術学科設置</p> <p>昭和55年（1980年） 医療技術短期大学部に理学療法学科・作業療法学科設置</p> <p>平成12年（2000年） 医学部保健学科設置</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成17年（2005年） 大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）設置</p> <p>平成19年（2007年） 大学院保健学研究科（博士後期課程）を設置</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 弘前大学の理念等に基づき、高度の医療技術や被ばく医療に関する基礎知識の修得はもとより、深い教養と問題解決に対処できる応用力・指導力を有し、病気を抱える人々のみならず、広く健康な人々や高齢者の</p>

生活に対する洞察力に富み、国際的視野を有する人材を育成する。

- 保健系5専攻の協働や医工連携教育等を推進し、異なる専門を持つ者が職種を越えて連携協働した実践・研究を推進するための多職種連携教育を学部から大学院まで一貫して積極的に展開する。
- 緊急被ばく医療人材育成に焦点を当てた教育研究や、短命県・青森を背景とし高齢者の介護予防や生活習慣病の予防を見据えた健康増進・保健活動をはじめとする、地域の課題に対応した取組を積極的に推進し、国内外へ広く発信するとともに、地域における看護・医療技術の拠点を形成する。